

# 鳥居本 T63 の紹介



鳥居本



「ガチャコン」鳥居本駅。「ガチャコン」とは近江鉄道の愛称で、滋賀県民になじみの深いローカル鉄道です。彦根から1駅、新幹線と接続できる米原からも2駅のこの鳥居本駅は、国の登録有形文化財に指定されており、レトロな駅舎には多くのファンがいます。この鳥居本駅を有する彦根市鳥居本地域は、江戸時代の五街道のひとつである中山道六十九次の第63番目の宿場町として、古くからにぎわいを見せてきました。街道沿いの風情を色濃く残すこの地域は、関西・中京・北陸を結ぶ交通の要衝として、現在も東海道新幹線や国道8号線等の主要な交通網が集中し、交通の便が良いのが特徴です。また、この地域は小中一貫校「鳥居本学園」として教育環境が充実しており、地域と子育てが共にあります。この恵まれた立地と教育環境を兼ね備えた歴史ある町で、今、新たな挑戦が始まっています。



## 新たな地域づくりの新星「T63」若手リーダーたちの挑戦

鳥居本の「T」と、中山道第63番目の宿場町の「63」。このT63は、農村では若手に分類されるであろう30〜50代の有志メンバー数名で結成された団体で、親世代が取り組んできた地域づくり活動の意志を受け継ぎつつも、時代の変化に即応し、新たな地域活性化を推進することを目的としています。

「若者が住み続けたいと思う魅力ある地域にしたい。」と思いを語るのは、メンバーの魚住さん。ご結婚を機に鳥居本地域に移住されたため、地域内外からのバランスよい視点を併せ持つておられます。地域の営農活動にも積極的に参画されるなど、地域にとって欠かすことのできない貴重な人材です。その他、企業の第一線で活躍されながら、豊富なアイデアと着実な行動力で団体を支える宮村さん、畑さん、飯田さん。地域では数少ない専業農家で、イチゴ栽培に取り組み「ファットリアたけぼん」の若き農園主・武田さん。このような多彩なメンバーが一堂に会し、新たな地域づくりを担う決意をされたのは、やはり将来への危機感からでした。



飯田 一郎氏 魚住 俊介氏 畑 雅之氏  
武田 和樹氏 宮村 良貴氏

## 「しがのふるさと 支え合いプロジェクト」で取り組みたいこと

T63のメンバーに、「しがのふるさと支え合いプロジェクト」で企業や大学等のみなさまと一緒に取り組みたいことをお聞きしたところ、「竹林や山林の整備」と「空き家問題の解決」という答えが返ってきました。鳥居本地域はかつて知る人ぞ知るタケノコの産地で、毎年春になるとタケノコの出荷が盛んに行われてきました。この地域で収穫されるタケノコは、サイズが大きくても柔らかいのが最大の特徴で、煮ても香りが良く、非常に美味しいそうです。

しかし、生産者の高齢化により、タケノコの生産量は年々減少し、荒れた竹林も散見されるようになってきました。このような竹林の整備に取り組むメンバーを支援し、「鳥居本産タケノコ」の復興と、そのブランドینگにご協力いただけるパートナーを広く募集されています。また近年は、竹林だけでなく山林も十分な手入れが難しくなっていることから、山林の有効活用も検討しておられます。自然豊かな山林が、地域への来訪者を増やすきっかけとなるよう、豊富なアイデアの提案を心待ちにされています。さらに、増加傾向にある空き家への対策も必要で、移住促進や飲食店の誘致等、今後は空き家の解消に向けた検討も実施される予定です。

交通の便も良く、多様な地域資源に恵まれた鳥居本地域。「この魅力をちゃんと知ってもらえれば、地域に来てくれる人がもっと増えるはず。」と魚住さんは話されます。鳥居本地域の魅力向上とそのPRにご協力いただける、企業・大学等のみなさま方のお力添えを心よりお待ちしております。

お問い合わせ先

滋賀県農政水産部農村振興課 地域資源活用推進室

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1番1号  
TEL : 077-528-3963

詳しくはこちら





参加企業・  
大学等  
大募集!!

## 中山間地域をみらいへつなぐ活動に参加しませんか？



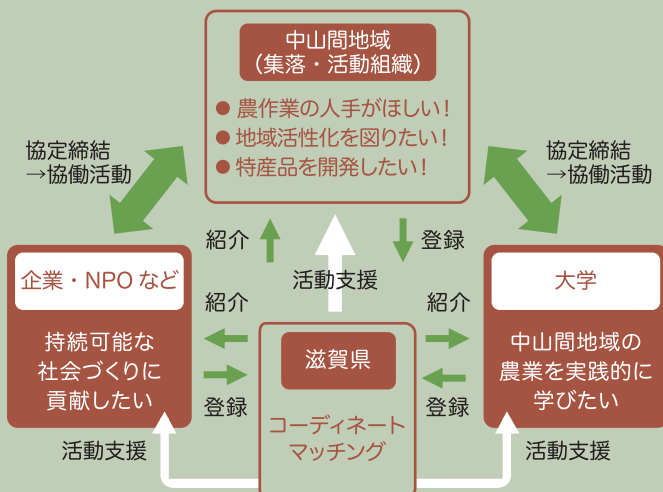
2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

### 未来へつなぐバトン

「中山間地域」とは、山間地とその周辺の地域を言います。滋賀県では県土の約65%がこのような地域です。「中山間地域」の農村は食糧生産の場であるだけでなく、雨水を一時的にたくわえて、洪水や土砂崩れを防いだり、たくさんの生き物を育んだりします。また、美しい風景は私たちの心を和ませてくれます。近年、「中山間地域」では人口減少や高齢化の進行により農業の担い手が不足し、荒廃農地が増加する傾向にあります。住民の力だけでは地域の農業・農村を維持するのが困難になってきています。都市部に住む人々にも、多くの恵みをもたらす「中山間地域」をみんなで守っていきませんか？「しがのふるさと支え合いプロジェクト」を通して、都市と農村の交流の輪を広げ、大切な恵みを未来へつないでいきましょう！

#### プロジェクトのイメージ

#### 【しがのふるさと支え合いプロジェクト】事業紹介



「しがのふるさと支え合いプロジェクト」とは、中山間地域の活性化を目的に、地域の集落等と企業や大学、NPO法人等の皆さんが協働し、農作業や棚田の保全活動、都市農村交流活動などを行っていただく取組です。県では、協働活動のコーディネータや、相手先とのマッチング、協定を締結し協働活動を行う団体への支援を行っています。

鳥居本T63は、2023年度に県の「しがのふるさと支え合いプロジェクト」に登録し、地域活性化に向けた協定を締結して、協働活動に協力していただける企業・大学等を募集しています。

詳しくは  
こちら

